



令和7年度の地域貢献事業を振り返って

令和7年度も残りわずかとなって参りました。今年度何をしてきたのか振り返る時期でもあります。地域貢献事業推進委員会は、文字通り法人の地域貢献事業を推進すべく活動して参りました。

私達が生活している上野幌地区のゴミを拾い清掃する、ほうおんクリーンDAYは今年度初めて町内会の方にもお声がけしてご参加頂きました。町内会の方に活動を知ってもらい、交流を深められる良い機会となりました。

昨年初めて行った、小学生以下対象のしいたけ収穫体験&法人見学会は、今年度2回目を実施し、前回に比べて3倍近い方にご参加頂きました。

法人の楽しい行事の様子をスライドで見てもらい、敷地内の各事業所を実際に案内させて頂きました。私達と利用者様の日頃の様子を地域の方に広く知ってもらい、当法人の活動や障がい者福祉への理解を深める機会になってくれたのではないかと期待しています。また、椎茸の収穫体験は、ご参加の皆様楽しい思い出になったのではないかと思います。

町内会と合同で行った防災訓練は、企画の段階から町内会の役員の方と当委員会で協力して実施しており、地域交流ホームひまわりの防災機能や町内の防災備品の確認、法人の栄養士による災害時の栄養講座の実施など、地域の防災を法人と町内会が共同で考える貴重な機会となっています。

おたのしみ演芸会 in かみのつぼろ2025は今年度厚別区にお住まいの65歳以上の方の発表、65歳以上の方の観覧という限定で、地域に密着した会として開催致しました。日頃の成果を見せたい方と楽しい発表を見たい方、双方の笑顔が溢れる機会を提供出来ました。

今年度地域貢献事業推進委員会が実施した事業は以上になります。社会福祉法人は地域への公益的な取り組みの実施を求められていますが、当法人の活動もまた地域の理解や協力が無ければ成り立ちません。責務としての地域貢献から積極的な地域貢献へ、地域の為に何が出来るのかを考え、「札幌報恩会が地域にあって良かった」と思ってもらえる地域貢献事業を目指して活動していきたいと、今年度の活動を振り返り改めて感じました。

地域貢献事業推進委員会

